

現代社会

第5問 問3

自治体とNPOの協働手法を、具体的事例で考察する問題

問3 下線部⑤に関して、タニさんは、「自治体の財政悪化による公共サービスの水準の低下や、少子高齢化に伴う問題などに対応するため、NPO(非営利組織)が自治体とともに、あるいは自治体に代わって、サービスの担い手になる場合もあります」と説明した。自治体とNPOの次の協働手法A～Cと、後の具体的な事業ア～ウの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 28

- A 共 催……自治体とNPOの双方が、労力や資金を出し合い、ともに事業を実施する。
- B 補 助……特定の活動目的をもったNPOが、自主的に企画した事業に対して、自治体が資金を提供する。
- C 委 託……自治体の事業の一部を、自治体が資金を拠出することによりNPOに依頼し、NPOが独自の工夫をしながら実施する。

- ア 少子化により子どもの数が減少した地域において、自治体が、既設の市民センターで子育て支援事業を実施することを決定した。その運営を任せられたNPOが、それまでの活動経験をいかして、親子同士の交流の場づくり、子どもの一時預かりなど、子育てがしやすくなる取組みを展開した。
- イ 自然災害に見舞われる危険性が高い地域において、自治体の防災部門とNPOが、災害発生時に避難所や災害ボランティアセンターを円滑に運営できるよう、地域住民を含めた実地訓練を一緒に企画・実施した。
- ウ 路線バスの本数減少により、高齢者の外出が難しくなった地域において、NPOが開始した、自宅と通院先を一定金額で送迎するサービスに対して、自治体が運営費用の一部を予算化し、NPOの負担を減らそうとした。

- ① Aーア Bーイ Cーウ
 ② Aーア Bーウ Cーイ
 ③ Aーイ Bーア Cーウ
 ④ Aーイ Bーウ Cーア
 ⑤ Aーウ Bーア Cーイ
 ⑥ Aーウ Bーイ Cーア

出題の特徴

自治体とNPOとの協働手法について、その手法を具体的な事例と関連づけて考察する問題でした。三つの協働手法の説明を読み取ったうえで、それを具体的な事例に置き換える力が求められました。

指導のご提案

抽象的な概念を、具体的な事例に置き換えたうえで考察する力は、共通テストにおいて複数の問題で求められました。学習した概念は具体的な事例では何をさしているのか、逆にニュースなどで取り上げられている事象を抽象化させるとどの学習事項と関連するのかといったことを考える習慣をつけておくと、このような問題に対応することが可能です。学校での学習だけでなく、普段の生活で見聞きするニュースについても主体的に調べ、自分のなかで整理しておくようにしましょう。

2022年度大学入学共通テスト
 「現代社会」
 受験者数: 63,604人
 平均点: 60.84点
 標準偏差: 15.99

教材のご紹介

教材のご紹介… 「2023共通テスト対策【実力完成】直前演習 現代社会」

具体的な事例を、抽象化して考察する問題

第4回 第6問 問2

問2 生徒Aのグループでは、情報社会における課題を探究する学習のまとめを行うにあたって、次のⅠ～Ⅲの事例を検討することにした。Ⅰ～Ⅲの内容を、次ページの表を使って分類すると、表中のA～カのどの項目に該当するか。その組合せとして最も適当なものを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

33

Ⅰ 企業が利用者から得た個人情報の管理が甘く個人情報が第三者に流出し、さらに厳格に本人を確認する2段階認証を導入していないなどセキュリティ機能に問題があったため、カードが不正に使用される事件が起こった。

Ⅱ 高度情報社会において写真や映像を無断で撮影・公開・使用されないという肖像権や、私生活や個人情報を他人に知られない・干渉されないというプライバシー権について理解し、SNSなどへの書き込みで他人の人権を侵害しないようにする。

Ⅲ WTO（世界貿易機関）では、「映画DVDや音楽CDのコピーである海賊版」や「服やバッグなどの模倣品」の製造・販売などを防ぐルールを定め、知的財産権を保護する協定に違反した国に対する提訴を受け付けている。

表

	個人と個人の関係に関するもの	個人と企業との関係に関するもの	国と国の関係に関するもの
個別・具体的な事実について述べたもの	A	I	ウ
望ましい社会のあり方や人間の生き方について述べたもの	E	O	カ

	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
①	A	カ	E
②	A	I	ウ
③	I	E	ウ
④	I	カ	E
⑤	カ	I	ウ
⑥	カ	E	ウ

4つのSTEPで攻略!

STEP1
設問文から何が問われているかを把握しよう

STEP2
前提となる知識を整理しよう

STEP3
資料を読み取ろう

STEP4
選択肢を確認しよう

解答解説

重要な問題は、ステップを踏んで解説しています

共通テスト 対応力 UP //

具体・抽象

第6問 問2 33 正解⑤ 情報社会

STEP1 設問文から何が問われているかを把握しよう

まず、Ⅰ～Ⅲの事例を確認する。問2 生徒Aのグループでは、情報社会における課題を探究する学習のまとめを行うにあたって、次のⅠ～Ⅲの事例を検討することにした。Ⅰ～Ⅲの内容を、次ページの表を使って分類すると、表中のA～カのどの項目に該当するか。その組合せとして最も適当なものを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

次に、それぞれの事例が表中のどの項目に該当するかを考える。

STEP2 資料を読み取ろう

Ⅰ 企業が利用者から得た個人情報の管理が甘く個人情報が第三者に流出し、さらに厳格に本人を確認する2段階認証を導入していないなどセキュリティ機能に問題があったため、カードが不正に使用される事件が起こった。

個人と企業の間で起こっている事件の事例。

Ⅱ 高度情報社会において写真や映像を無断で撮影・公開・使用されないという肖像権や、私生活や個人情報を他人に知られない・干渉されないというプライバシー権について理解し、SNSなどへの書き込みで他人の人権を侵害しないようにする。

個人間での望ましい関係性の事例。

Ⅲ WTO（世界貿易機関）では、「映画DVDや音楽CDのコピーである海賊版」や「服やバッグなどの模倣品」の製造・販売などを防ぐルールを定め、知的財産権を保護する協定に違反した国に対する提訴を受け付けている。

国家間で定められているルールや制度の事例。

STEP3 選択肢を確認しよう

	個人と個人の関係に関するもの	個人と企業との関係に関するもの	国と国の関係に関するもの	Ⅰ 企業の個人情報
個別・具体的な事実について述べたもの	A	I	ウ	
望ましい社会のあり方や人間の生き方について述べたもの	E	O	カ	

	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
①	A	カ	E
②	A	I	ウ
③	I	E	ウ
④	I	カ	E
⑤	カ	I	ウ
⑥	カ	E	ウ

共通テスト対策 実力完成 直前演習

2023 共通テスト 60分×6題

実力完成から、本問を保護することで、問題を解きやすくなる。

定価880円(税込み)

2023版は6月発刊予定で、4月から見本請求の受け付けを開始します。